

第2次東よか干潟環境保全及びワイズユース計画の策定について（報告）

1 策定の趣旨

ラムサール条約湿地「東よか干潟」の環境保全、ワイズユース（賢明な利用）、交流・学習の取組を推進するための指針として策定するもの。

2 これまでの経過

- 令和6年6月 議会研究会での説明（計画の位置付け・スケジュール）
 8～9月 東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議 2回開催
 （取組状況調査の内容協議、素案審議等）
 9～10月 現行計画の取組状況調査の実施
 11月 東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議 2回開催
 （素案、パブリックコメント案の審議）
 12月 議会研究会での説明（策定状況の報告・計画案の提示）
 令和7年1月 パブリックコメントの実施
 ※委員名簿は裏面参照

3 計画の内容

【改定のポイント】

< 現行計画（2017～2024年度） >

- ・干潟の環境保全、ワイズユース、交流・学習の取組の定着・発展
- ・東よか干潟の拠点施設（ひがさす）の構想、整備方針の検討

< 新計画（2025～2034年度） ※別紙（計画概要）参照 >

- ・干潟の環境変化への対応、修学旅行の誘致、国外湿地との交流等の新たな活動の展開
- ・新たに重点施策を規定

(1) 計画期間 2025年度～2034年度（10年間）

(2) 目指すべき将来像

「未来につなぐ 湿地と私たちの持続可能な暮らし」

(3) ラムサール条約の3つの柱と目標・基本施策

- ① 保全・再生 ～佐賀の誇りを未来へ～
- ・環境調査・把握の仕組みづくりと対応方針の検討
 - ・干潟環境の保全・再生の取組の推進
- ② ワイズユース ～干潟の恵みを実感～
- ・観光への利活用の推進
 - ・産業への利活用の推進
- ③ 交流・学習 ～学び、つながり、広げる～
- ・交流・学習活動の推進
 - ・交流・学習拠点の活用

4 施行日

令和7年4月1日

佐賀市東よか干潟環境保全及びワイズユース推進会議 委員名簿

任期：令和6年8月8日から令和9年3月31日まで

No	区 分	団体名	委 員	
			役 職	氏 名
1	学識経験者	国立大学法人佐賀大学 農学部	准教授	郡山 益実
2	地域における各種団体	東与賀まちづくり協議会	会長	富吉 宣仁
3		東与賀自治会長会	会長	富吉 信行
4		シチメンソウを育てる会	会長	石丸 義弘
5	自然環境の保全等に 関わる団体	佐賀自然史研究会	会長	上赤 博文
6		日本野鳥の会佐賀県支部	支部長	宮原 明幸
7	漁業、農業、商業等の 振興に関わる団体	佐賀県農業協同組合 東与賀支所	支所長	横尾 保
8		佐賀県有明海漁業協同組合 東与賀町支所	支所長	山田 幸司
9		一般社団法人佐賀市観光協 会	専務理事	喜多 浩人
10		佐賀市南商工会	会長	吉村 正
11	その他市長が必要と 認める者	佐賀市立東与賀小学校	校長	田平 浩一
12		佐賀市立東与賀中学校	校長	石井 博善